

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	津市
------	------------	-----	----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	森林・木材利用促進フェア事業
事業費 3,700,000円(うち交付金:3,119,000円)		

1. 事業の目的

平成26年に美杉町の林業を舞台にした映画「WOODJOB」が上映されることから、映画の課題となっている林業を通じて、森林の実情や森林が果たしている多面的機能の紹介、木材・木造建築や木製品等を広く市民の方々に知っていただく場を提供し、自然にふれあったり、木材の癒し効果などを感じていただけるような催しを開催する。

2. 事業の内容

森林の実情や森林の役割、森林施業等のパネル展示や木造・木質製品の紹介、ペレットストーブ等木材利用製品の展示、丸太切り体験を行った。

【事業実施主体】：津市・実行委員会

【事業費】：3,700千円

【事業の規模(事業量)】：フェア開催日数41日間

【事業実施期間】：平成26年4月1日から平成27年1月16日

3. 事業の実績と効果

フェア開催日数41日間

フェア開催来場者数12,095人(当初計画5,000人)

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	森林・林業に対する理解や、木に直接触れぬくもりを感じていただける場の提供が出来た。
効率性	林業関係団体等による連携によって、長期に渡っての開催が可能となり、相当数の来場者との触れ合いや、森林・林業への理解を得ることができた。
公益性(波及度)	フェア開催に伴い来場者数が12,095人となった。

【今後の取組方向】

次年度以降も、森林・林業に対する理解や、木と触れ合う場の提供に取り組んで行く。

5. 写真



フェア会場(H26.5.2撮影)



フェア会場内(H26.5.2撮影)



丸太切の様子(H26.5.11撮影)

6. その他特記事項

広報津5月号に掲載・(掲載記事は別添のとおり)林政ニュース20145.18に掲載(掲載記事は別添のとおり)でこの財源が「みえ森と緑の県民税」である事を掲載。新聞でも記事採用がされた。会場入口にのぼり旗により「みえ森と緑の県民税」を活用している事を表示。

5月2日(金) オープン WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館

津市森林・木材利用促進フェア

5月2日(金) ~ 5月6日(火・休)
5月10日 ~ 8月31日(土・日・曜)
10時 ~ 16時

(ただし、開館初日は13時から、最終日は15時まで)

WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館

道の駅「美杉」に隣接する美杉の家建設株式会社木材加工施設内(美杉町上多気)

なあなあ、
みんな美杉へおいでよ!

開館初日5月2日(金)
特別ゲストとして、矢口史靖
監督が来場するよ!



美杉の癒やしの森の妖精
みすぎん



映画「WOOD JOB! (ウツジョブ!) ~神去なあなあ日常~」関連イベント

劇中に登場する「巨木セット」などの大道具・小道具、ロケ風景パネル展など

森林・林業関連イベント

森林・林業関連パネル展、間伐材丸太切り体験コーナー、森と緑の市民塾
など

このフェアは「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用しています。

問い合わせ 津市森林・木材利用促進フェア実行委員会事務局(林業振興室内)
☎262-7025 ☎264-1000

市民活動を応援!

問い合わせ 対話連携推進室
☎229-3110 ☎229-3366

地域の課題解決や地域振興などの公益的な活動に取り組んでいる団体や、これから取り組もうとしている団体を対象に、平成26年度の活動経費の一部を支援します。国や他の地方公共団体から財政的な支援を受けている団体は、対象になりません。

応募方法 対話連携推進室、各総合支所地域振興課にある申請書に必要事項を記入し直接提出するか、郵送、ファクス、Eメールで対話連携推進室(〒514-8611 住所不要、☎229-3110@city.tsu.lg.jp)へ

*申請書は津市ホームページからもダウンロードできます。

締め切り 5月30日(金)必着

選考方法 6月15日(日)に開催する公開審査会「市民セレクション」で、応募者によるプレゼンテーションを行い決定

■市民活動団体設立等支援交付金

対象 市内に活動の拠点を置く次の団体

- ①今年度内にNPO法人の設立登記が完了する予定の市民活動団体
- ②2人以上の構成員で市民活動団体を設立しようとする、または、2人以上の構成員で設立後1年を経過していない市民活動団体

対象経費

- ①NPO法人の設立認証申請に要する経費
- ②公益的な活動を行う市民活動団体の設立に要する経費、または、設立後1年を経過していない市民活動団体の運営に要する経費。原則として飲食費、人件費は除く

交付額 対象経費の2分の1(最高10万円)

■市民活動推進交付金

対象 構成員が2人以上で、市内で自主的な活動をしている自治会や市民活動団体(これまでに5回以上市民活動推進交付金を交付された団体を除く)

対象経費 応募団体が主体的に取り組む公益的な活動(個人活動を除く)に要する経費。原則として飲食費、人件費、活動組織の運営管理に関する経費は除く

交付額 対象経費の2分の1(最高20万円)

事業報告会を開催

昨年度の事業実施団体による報告会を開催します。応募の参考に、ぜひお越しください。

とき 5月24日(土)9時~
ところ 津リージョンプラザ2階健康教室

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	大紀町
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	木材利用推進・普及補助金
事業費		50,000円（うち交付金：50,000円）

1. 事業の目的
 イベントを通じて、直に木に触れながら森林の必要性を理解してもらう。

2. 事業の内容
 木工教室の開催。
 【事業実施主体】大紀森林組合
 【事業費】50千円
 【事業の規模（事業量）】木工教室 1回
 【事業実施期間】平成26年11月30日

3. 事業の実績と効果
 イベントに集まる子供達が木に親しむ良い機会となり、森林の必要性を肌で感じることによって将来的に森林を支える礎となる。
 【事業の規模（事業量）】木工教室 1回
 【事業の受益者数】参加者数 66人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	子供達が木に親しむ良い機会となり、森林の必要性を肌で感じることによって将来的に森林を支える礎となった。
効率性	町イベント時に行うことによって、多くの方に体験していただいて森林の必要性を理解いただいた。
公益性（波及度）	イベント時に66人体験した。

【今後の取組方向】
 参加者から、高評価をいただいたことから、次年度以降も事業を継続する。



6. その他特記事項
 平成26年度の事業結果を、町ホームページにて平成27年度中に掲載予定。

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	多気町
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	県産材を活用した学校机・イス整備事業
事業費		3,780,000円（うち交付金：3,780,000円）

1. 事業の目的	
<p>木材は、柔らかで温かみのある感触を有するとともに、室内の温度変化を緩和させ、快適性を高める等優れた性質を備えている。町内の小学生に県産材の木材について学びふれあう機会を提供するとともに、温かみと潤いのある教育環境づくりを進める</p>	
2. 事業の内容	
<p>6年間で町内各小学校へ県産材（杉・桧）を活用した机・イスの整備を行う 【事業実施主体】多気町【事業費】3,780,000円【事業量】小学校の27年4月入学生分100セット 【事業実施期間】平成26年8月1日～平成27年3月31日</p>	
3. 事業の実績と効果	
<p>【事業量】町内全小学校の27年4月入学生分 100セット 【事業の受益者数】27年4月入学の小学1年生 100人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産材の木材について学びふれあう機会の提供 ○温かみと潤いのある教育環境の整備 ○感受性豊かな子どもたちを育てる ○室内環境の快適化 ○木材利用による環境負荷低減や森林の保全、木の文化の継承などについて学習するきっかけづくり 	
4. 事業の評価と今後の取組方向	
【事業の評価】	
評価の視点	コメント
有効性	児童達の木材に対する理解が進んだ。
効率性	木材利用による環境保全などの学習のきっかけとなった。
公益性(波及度)	室内環境（教育環境）の快適化に効果があった。
【今後の取組方向】	
次年度以降も当該事業を継続実施する。	
5. 写真	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
6. その他特記事項	
町広報誌「たき」5月号に掲載	

たき

2015
5月
vol.113

つながる力 ふれあう心 共につくる“ええまち”多気町



📷 4月7日 外城田小学校入学式 ***

まちの話題

町内の
イベントや
出来事を
紹介します。

NEWS

1

新生活のスタート!

4月6日に町内の各小中学校で入学式が行われました。

学校名	新入生数
相可小学校	48
佐奈小学校	19
津田小学校	11
外城田小学校	8
勢和小学校	37
多気中学校	122
勢和中学校	42

在校生から新入生への温かい言葉が送られました。お父さんお母さんが見守る中、新入生は期待と緊張が入り混じった表情でぞんぞんしていました。



NEWS

2

新しい机・椅子を購入しました



みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し、平成27年度小学校新入学児童に三重県産材を利用した机・椅子が購入されました。来年度以降も小学校新入学児童に三重県産材を利用した机・椅子を購入していく予定です。



NEWS

3

佐那神社 式年遷宮

仁田にある佐那神社で二十年に一度の式年遷宮が執り行われました。3月13日に本殿遷座祭が行われ、主神「天手力男命(あめのたぢからのおみこと)」など26柱の御神体が新しい本殿に移されました。3月29日行われた奉祝祭では、氏子や稚児などおよそ100人が佐奈小学校から佐那神社まで練り歩き、その後、式典にて祝詞奏上や佐奈小学校児童による舞楽が行われました。



NEWS

4

相鹿上神社 式年遷宮

昨年12月に二十年に一度の式年遷座を終えた相可の相鹿上神社で、3月15日に奉祝祭が執り行われました。今回の遷宮は、併殿の造営のほか、本殿の改修や御門と玉垣の造営などが行われました。奉祝祭は、これらの造営と修繕が終了したことを祝うもので、神職者や稚児などおよそ160人が荒蒔公民館から神社まで練り歩いた後、式典や祝いの餅まきが行われました。

